

# 議案第 1 号 令和 3 年度 事業報告について

## 事業報告

### 1 事業概要

令和 3 年度の草津市シルバー人材センターの事業概要は、次のとおり

会員数	678 人	前年度比	1.0%増
契約金額	243,861,141 円	前年度比	4.9%増
（うち派遣事業）	58,642,122 円	前年度比	6.6%増
就労延人員	58,977 人日	前年度比	3.2%増
（うち派遣事業）	13,214 人日	前年度比	6.7%増

令和 3 年度の我が国の社会経済情勢は、内閣府が公表した 4 月から 6 月までの国内総生産の 2 次速報では、物価変動の影響を除いた実質経済成長率が年率換算 1.9%増と 2 四半期ぶりのプラス成長となり、景気は個人消費など持ち直しの動きが見られた。

6 月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針 2021」では、あらゆる政策を総動員して経済回復を確実なものとしていくこととしているが、変異株の影響等により夏頃から新型コロナウイルス感染症が再拡大するなど、経済の先行きは極めて不透明な状況にある。

当センターの契約金額については、派遣事業が若干、前年度より増加し、全体としても前年度を 4.9%上回る結果となり、前年並みを維持している。

また、令和 3 年度の全国の会員数については、19 年振りに 70 万人を下回った令和 2 年度と比較しても、前年同月比 1 万人ほどのマイナスで推移している<sup>\*1</sup>中で、当センターは昨年度と比べて前年並みを維持している。

上記のように令和 3 年度は、新型コロナウイルス禍の影響下ながらも、現状を維持できた結果となったが、先の見通せない経済状況の中で、今後の事業展開への影響が懸念されるところである。

※1 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会調べ

### 2 事業詳細

#### (1) 会員の拡充の推進

役職員と会員が主体となって、会員拡大委員会の活動を中心に会員の拡充に積極的に取り組んだ。

① 会員の就業については、会員就業規則に従い適正かつ公平な就業機会の提供に努めるとともに、可能な限りグループ就業やローテーション就業の推進を図った。

② 入会説明会については、南草津駅前の「草津市立市民交流プラザ（フェリエ南草津 5 階）」及び当シルバー会議室において毎月 2 回定期に開催し、併せて参加者アンケートを実施、入会率アップを図った。また、女性会員

対象の説明会を草津コミュニティー支援センターで実施した。

説明会の開催を周知すべく、新聞折込による「入会説明会案内チラシ」3万2,000枚を9月に、湖南フリモ情報誌併配による「入会説明会案内チラシ」4万3,880枚を12月にそれぞれ配布した。また、商業施設（アルプラザ草津店舗内入口）にてポケットティッシュ「会員募集」300個を10月に配付した。

- ③ 広報「ふれあい」や新しく1月から「Web入会申込み」の受付の開始を行いシルバー人材センターの普及啓発に努めるとともに、各種研修会の開催を一般市民に呼び掛けるなど、会員の拡充と後継者の育成に努めた。

こうした取組みの結果、新規入会登録者数は84人、退会者数は77人、会員総数は、678人となり、前年度（671人）より7人（1.0%）の微増となった。

## （2）就業の開拓と拡大の推進

役職員と会員が主体となって、就業開拓委員会の活動を中心に就業の開拓と拡大に積極的に取り組んだ。

- ① 感染症の影響を考慮して事業所訪問は控え、ハローワークへ求人募集を行う事業所及び過去の事業所訪問先で見込みのある38社を選定し受注依頼とシルバー人材センターの普及啓発のパンフレットやチラシを送付した。あわせて、高年齢者の就業が可能な業務に関するアンケートを実施し、事業所の意識調査を試みた。

- ② 「空き家見守りサービス」について草津市の広報課を通じて報道機関に情報提供を行い、6月23日の京都新聞に記事が掲載された。また、草津市ふるさと寄附特産品に登録し、草津市外への周知を図った。

草津商工会議所主催の合同売出チラシ（8/1、12/13）や、同会議所が運営する地域の頑張る企業を応援するホームページ「まるっとくさつ」に出稿し、周知に努めた。

- ③ 近年会員からも好評である当センター内で軽作業を行う「下請け」業務の拡充に努め継続就業の拡大に努めた。

- ④ 当センターロビーの「就業情報閲覧コーナー」やホームページ上の「就業情報」と合わせ、遠方の会員やインターネット環境を持たない会員のための紙面での就業情報の提供を継続実施した。

こうした取組みの結果、コロナ禍による契約金額への影響にも一定の成果があった。

## （3）安全就業の推進

安全就業適正委員会の活動の中核に据え、「安全は全てに優先する」ことを基本として「事故ゼロ」を目指し、安全活動を継続推進した。

- ① 就業現場への「安全パトロール」を3回（9箇所）実施し、就業状況を

確認するとともに現場に応じたチェックリストの改善を行った。

- ② 安全就業適正委員会会報「お元気ですか」を3回（5月・10月・1月、各月約750部）発行する中で、本年度開催できなかった「安全大会」の内容は会報の特集号として増刊し、安全意識の周知・徹底を図った。
- ③ 県下で事故が多数発生している職域への重点取り組みとして、植木剪定講習会（29人受講）や機械刈除草班会議（16人出席）に合わせて安全就業の研修を行い、啓発に努めた。
- ④ 「コロナに負けない健康づくり研修会」（26人受講）や「交通安全教室」（15人受講）を開催すると共に、10地域班の班会議においてもこれらへの心構えを資料で重ねて示し、健康維持と安全対策の再確認と実践を呼び掛けた。

#### (4) 運営基盤の確立

理事会、事業運営委員会が中心になりセンター全般の諸行事の企画や、他の委員会と連携し組織体制の確立と事業の円滑な推進に取り組んだ。

- ① 次期役員改選に向けて役員の推薦方法と選考基準等を見直した。
- ② 独自事業の調査研究のため、芦屋市シルバー人材センターを視察訪問し、独自事業の提案募集実施要綱の素案を取りまとめた。
- ③ SMS（ショートメール）を用いた就業情報等の提供や各種連絡を実施し、コミュニケーションの充実と業務の円滑化を図った。また、「Web入会申込み」の導入等、ICT（情報通信技術）化に取り組んだ。
- ④ 引き続き事務費比率の経過措置の改善を行い、より安定した経営基盤の確立と健全経営の推進に取り組んだ。その結果、引き続き草津市単独補助金に頼ることなく運営することが出来た。
- ⑤ その他、滋賀県シルバー人材センター連合会が推進するシルバー事業事務集中化（派遣事業、請負事業についての日報処理等）に引き続き参画し、定例的な事務作業の効率化を図った。

### 3 数値目標の達成状況

	従前値 <sup>※1</sup>	目標値	実績値	達成率	
(1) 会員数	671 人	675 人	678 人	100.4	
(2) 会員の満足度 <sup>※2</sup>	58%	61%	71%	116.4	
(3) 契約額	受託事業	177,368 千円	189,993 千円	185,219 千円	97.5
	派遣事業	55,022 千円	58,500 千円	58,642 千円	100.2
(4) 未就業会員数 <sup>※3</sup>	67 人(10.0%)	58 人(9%)	62 人(9.8%)	93.1	
(5) 事故発生件数	7 件	0 件	6 件	-	

※1 令和2年度末の数値

※2 加入してよかったと思う会員の割合

※3 目標値：プラチナ除く会員数の9%、達成率：(1-(実績値-目標値)/目標値)×100